



第85回 全日本男子ホッケー選手権大会

開催日時 12 月 11 日 (日) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】 < Aコート >

第1試合 9:30	立命館大学	7	$\begin{pmatrix} 2 - 2 \\ 5 - 0 \end{pmatrix}$	2	福井クラブ
第2試合 11:10	RIVERSOUL岐阜	4	$\begin{pmatrix} 1 - 1 \\ 3 - 1 \end{pmatrix}$	2	慶應義塾大学
第3試合 13:10	小矢部RED OX	3	$\begin{pmatrix} 2 - 2 \\ 1 - 3 \end{pmatrix}$	5	天理大学
第4試合 14:50	山梨学院大学	0	$\begin{pmatrix} 0 - 3 \\ 0 - 3 \end{pmatrix}$	6	名古屋フラーテルホッケーチーム

【各試合の結果・詳細】

Aコート 第1試合

立命館大学

$$7 \begin{pmatrix} 2 & - & 2 \\ 5 & - & 0 \end{pmatrix}$$

2 福井クラブ

3勝0敗0分 勝点 9

0勝3敗0分 勝点 0

<得点>

立命館 : 9分#30田中 18分#9藤吉 38分#25藤原 47分#7堀江 52分#9藤吉 66分#1村上 69分#10今嶋
福井クラブ : 29分#2為国 31分#2為国

<戦評>

立命館大学のセンターパスで試合が開始された。激しいボールの奪い合いの中、試合が動いたのは 9 分立命 #9 藤吉がサークル内に持ち込み折り返しを #30 田中が冷静に決め先制する。その後 18 分にも #9 藤吉がシュートを決めリードする。対する福井クラブは 29 分、31 分と P C のチャンスを取得。#2 為国が連続してドラックフリックを決め、同点とする。2-2 で前半を折り返す。

後半開始 38 分立命 #25 藤原がドリブルで持ち込みヒットシュートを決める。勢いに乗りた立命は 47 分 P C を取得。#1 村上からのボールを #7 堀江がタッチシュートを決める。その後 52 分にも #7 堀江の折り返しを #9 藤吉が確実に決めリードを広げる。66 分にも P C から #1 村上が豪快なヒットシュートを決める。追いつきたい福井は果敢に攻め込むも立命の堅い守備に阻まれ得点することができない。試合終了間際にも立命 #10 今嶋がタッチシュートを決め、7-2 で試合終了。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	押田 幸二
ジャッジ	大橋 俊彦		戸塚 洋介
サジェスチョン	富山 喜正 加藤 直美		

Aコート 第2試合

$$\text{RIVERSOUL岐阜} 4 \begin{pmatrix} 1 & - & 1 \\ 3 & - & 1 \end{pmatrix}$$

2 慶應義塾大学

2勝1敗0分 勝点6

1勝2敗0分 勝点3

<得点>

RS岐阜 : 4分#10竹田 38分#2百成 42分#10竹田 70分#2百成
慶應義塾 : 28分#3的場 63分#1金子

<戦評>

RIVERSOUL岐阜のセンターパスで試合が開始された。前半 4 分 RS 岐阜 #11 伊藤が左へ折り返し、それを #10 竹田が決めて先制する。その後、激しくボールを奪い合い、一進一退の攻防が続いたが、28 分慶應義塾大学 #3 的場がスイープシュートを決め同点とし前半を終える。

後半に入り、38 分 RS 岐阜が P C を取得。これを #2 百成が決めてリードする。42 分にもカウンターから #10 竹田がドリブルで持ち込みシュートを決め 2 点差とする。その後両チームともチャンスを作るが得点には至らず。63 分慶應のカウンターから #1 金子がドリブルで持ち込みシュートを決め 1 点差とするも、70 分 RS 岐阜が P C のチャンスを #2 百成がフリックシュートを決め、4-2 で RS 岐阜が勝利した。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	宮川 敏充
ジャッジ	下島 多美子		鈴木 茂明
サジェスチョン	小原 直也 安枝 和子		

Aコート 第3試合

小矢部RED OX 3 $\begin{pmatrix} 2 & - & 2 \\ 1 & - & 3 \end{pmatrix}$ 5 天理大学
 1勝2敗0分 勝点3 2勝1敗0分 勝点6

<得点>

小矢部 : 5分#6河合 28分#6河合 38分#28飛田
 天理 : 8分#6三谷 25分#6三谷 39分#13清水 51分#5甘利 65分#3下市

<戦評>

小矢部RED OXのセンターパスで前半が開始された。5分小矢部がPCを取得。#6河合がフリックシュートを確実に決め先制する。対する天理大学は、8分#3下市のセンタリングを#6三谷がタッチし、同点とする。一進一退の攻防が続いていたが、25分#6三谷が右からドリブルで持ち込みゴールキーパーをかわし、倒れこみながらシュートを決める。追いつきたい小矢部は28分PCを取得する。#6河合が豪快なフリックシュートを決め再び同点とし前半を終える。

後半開始直後の38分、小矢部は右から流れるようなパスワークで、#28飛田がリバースシュートを決める。対する天理は39分#6三谷のシュートをゴールキーパーが防ぐも、リバウンドを#13清水がダイレクトヒットで決め、すぐさま同点とする。51分にもサークルトップからの早いリスタートで#5甘利が持ち込みリバースシュートを決め逆転する。その後も天理が押し気味にゲームを進め、立て続けにPCを3本取得する。65分には、#3下市のフリックシュートが左下に決まり点差を広げ、5-3で天理が勝利した。

テクニカルオフィサー	松下 正寿	アンパイア	富山 喜正
ジャッジ	大橋 俊彦		成田 健一
サジェスチョン	戸塚 洋介		
	平尾 豊		

Aコート 第4試合

山梨学院大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 3 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 6 名古屋フラーテルホッケーチーム
 0勝3敗0分 勝点0 3勝0敗0分 勝点9

<得点>

山梨学院 :
 名古屋フラーテル : 10分#11川上 13分#14長澤 23分#11川上 36分#18福代 41分#18副代 52分#17橘

<戦評>

山梨学院大学のセンターパスで試合が開始された。10分名古屋フラーテルホッケーチーム#17猿養が右から回り込み、パスしたボールを#11川上啓が押し込み先制する。13分にはPCから#14長澤が豪快なフリックシュートを決める。23分にも#7猿養が前線でパスを受けドリブルで持ち込み、左へのパスを#11川上啓が決め三点差とする。得点が欲しい山梨だがリズムをつかめないまま、前半を終える。

後半開始直後、名古屋#17橘が右から持ち込みシュートし、山梨が一度は守るもののリバウンドを#18福代が決める。41分にも#17橘がドリブルで持ち込み、右への折り返しを#18福代が決め5点目を挙げる。更に52分に、PCから#17橘がフリックシュートを決め6点目を挙げる。追う山梨は57分にPCを取得するも、名古屋の堅い守備により得点には至らない。その後も名古屋が優位に試合を進め、6-0で圧勝した。

テクニカルオフィサー	中村 康夫	アンパイア	藤村 利道
ジャッジ	下島 多美子		小原 直也
サジェスチョン	鈴木 茂明		
	安枝 和子		

明日の組み合わせ (Aコート)

決勝戦	名古屋フラーテルホッケーチーム	(-)	立命館大学
11:00			

A組

1位	名古屋フラーテルホッケーチーム	3勝0敗0分	勝点 9
2位	RIVERSOUL岐阜	2勝1敗0分	勝点 6
3位	慶應義塾大学	1勝2敗0分	勝点 3
4位	山梨学院大学	0勝3敗0分	勝点 0

B組

1位	立命館大学	3勝0敗0分	勝点 9
2位	天理大学	2勝1敗0分	勝点 6
3位	小矢部RED OX	1勝2敗0分	勝点 3
4位	福井クラブ	0勝3敗0分	勝点 0

以上の結果により、18日(日)に行われる決勝戦は
名古屋フラーテルホッケーチーム 対 立命館大学 となりました。